

日立電線スイッチングハブ

ApresiaLightFM シリーズ

Ver. 1.07.00

リリースノート

制定・改訂履歴表

No.	年 月 日	内 容
-	2012年 3月 27日	新規制定
A	2012年 5月 18日	<ul style="list-style-type: none"> ・ APLFM-10700-ER032 事象追加 ・ APLFM-10700-ER033 事象追加
B	2012年 6月 29日	<ul style="list-style-type: none"> ・ APLFM-10700-ER033 の修正

Ver. 1.07.00 リリース情報(2012年3月)

機能追加・修正について

このバージョンでは、以下の機能が追加・修正となっております。

追加機能及び仕様変更

APLFM-10700-RC001

内容 パケットストーム制御(Traffic Control)の shutdown モードにおいて、自動リカバリー時間が従来の固定 5 分から 10～300 秒に設定可能としました。また、countdown パラメーターの単位時間を分から秒に変更しました。

関連 -

APLFM-10700-RC002

内容 CPU および DRAM メモリーの使用率を通知する機能を追加しました。

関連 -

APLFM-10700-RC003

内容 MAC 認証において、failover 機能を追加しました。

関連 -

APLFM-10700-RC004

内容 WEB 認証において、ログイン/ログアウト画面にカスタマイズした文字列情報を表示させる機能を追加しました。

関連 -

APLFM-10700-RC005

内容 WEB 認証において、ログイン/ログアウトおよび認証タイムアウト時のログ出力を追加しました。

関連 -

APLFM-10700-RC006

内容 802.1x 認証において、ログアウト時のログ出力を追加しました。

関連 -

APLFM-10700-RC007

内容 コマンドラインインターフェースにおいて、コマンド実行時の成功および失敗ログを出力する機能を追加しました。

関連 -

APLFM-10700-RC008

内容 PoE 機能において、設定した power_limit を超えたこと示すログを追加しました。

関連 -

APLFM-10700-RC009

内容 ループ防止機能において、ループ検知時に「CONSOLE」LED を点滅させる機能を追加しました。

関連 -

APLFM-10700-RC010

内容 SNMP 機能において、CPU 使用率に関する MIB をサポートしました。

- "cpuUtilizationNotifyCurrentStatus"
- "cpuUtilizationNotifyState"
- "cpuUtilizationNotifyThreshold"
- "cpuUtilizationNotifyPollingInterval"
- "cpuUtilizationNotifyTrapState"
- "cpuUtilizationNotifyLogState"
- "cpuUtilizationIn5sec"
- "cpuUtilizationIn1min"
- "cpuUtilizationIn5min"
- "cpuUtilizationInMax"
- "cpuUtilizationInMin"
- "cpuUtilizationClear"

関連 -

APLFM-10700-RC011

内容 SNMP 機能において、DRAM メモリ使用率に関する MIB をサポートしました。

- "dramUtilizationNotifyCurrentStatus"
- "dramUtilizationNotifyState"
- "dramUtilizationNotifyThreshold"
- "dramUtilizationNotifyPollingInterval"
- "dramUtilizationNotifyTrapState"
- "dramUtilizationNotifyLogState"
- "dramUtilizationTotalDRAM"
- "dramUtilizationUsedDRAM"
- "dramUtilizationPercentage"
- "dramUtilizationMax"
- "dramUtilizationMin"
- "dramUtilizationClear"

関連 -

APLFM-10700-RC012

内容 SNMP 機能において、コマンドログ機能の MIB をサポートしました。

- "commandLoggingState"

関連 -

APLFM-10700-RC013

内容 SNMP 機能において、パケットストーム制御(Traffic Control)機能の以下 MIB を追加しました。

- "trafficControlPortRecoverTime"

関連 -

APLFM-10700-RC014

内容 SNMP 機能において、CPU 使用率通知機能の Trap をサポートしました。

- "cpuUtilizationStatusChange"

関連 -

APLFM-10700-RC015

内容 SNMP 機能において、DRAM メモリ使用率通知機能の Trap をサポートしました。

- "dramUtilizationStatusChange"

関連 -

APLFM-10700-RC016

内容 SNMP 機能において、MAC 認証機能の以下 Trap を追加しました。

- "macAuthFailure"

関連 -

APLFM-10700-RC017

- 内容 SNMP 機能において、WEB 認証機能の以下 Trap を追加しました。
- "webAuthFailure"
 - "webAuthStopLearning"
 - "webAuthRecoverLearning"

関連 -

APLFM-10700-RC018

- 内容 SNMP 機能において、802.1x 認証機能の以下 Trap を追加しました。
- "dot1xAuthFailure"

関連 -

APLFM-10700-RC019

- 内容 SNMP 機能において、装置ログイン/ログアウトの Trap をサポートしました。
- "login"
 - "loginFailed"
 - "logout"

関連 -

修正

APLFM-10700-RC020

- 現象 "show ipv6route"コマンドで IPv6 Dynamic Gateway Address が参照できない問題を修正しました。

関連 -

APLFM-10700-RC021

- 現象 IPv6 インターフェースのアドレス設定が save されない問題を修正しました。

関連 -

APLFM-10700-RC022

- 現象 Radius の設定において、Acct-Port の設定を省略した場合に不正値 (0) が設定される問題を修正しました。

関連 -

APLFM-10700-RC023

現象 パケットストーム制御(Traffic Control)の drop モードにおいて、設定した閾値に関係なくログ出力される問題について、drop モードの閾値超過したログ出力を無効しました。

関連 -

APLFM-10700-RC024

現象 コンフィグ差分表示において、デフォルト設定から削除した snmp view 設定が表示されない問題を修正しました。

関連 -

APLFM-10700-RC025

現象 WEB-UI において、不正な構文の config ファイルをダウンロードしたときに、"Firmware Fail!"となる表示上の問題を修正しました。

関連 -

APLFM-10700-RC026

現象 LLDP 機能において、内部カウンターの更新処理の問題により、約 49.7 日毎の更新タイミングで LLDP 情報の非整合が発生した場合、リポートが発生する問題を修正しました。

関連 ApresiaLight シリーズ WEB サイト「重要なお知らせ」
・ LLDP 機能を使用する場合の注意点 (2012/3/15)

APLFM-10700-RC027

現象 ipv6 nd コマンドの初期設定値が show config modified で差分表示される表示上の問題を修正しました。

関連 -

APLFM-10700-RC028

現象 BPDU ガード機能において、SNMP により bpdGuardPortState を disabled に設定するとポート状態が正しく表示されない問題を修正しました。

関連 -

APLFM-10700-RC029

現象 WEB-UI による LLDP Remote Port 表示において、LACP ID を誤表示する問題を修正しました。

関連 -

APLFM-10300-RC002

現象 本装置を一部の古い端末と AutoNegotiation 接続させた場合、AutoNegotiation に失敗して意図しない速度でリンクアップする現象を改善しました。

関連 -

既知の問題について

このバージョンでは、以下の既知の問題があります。

既知問題

APLFM-10700-ER030

現象 APLFM-10700-RC008 において、PoE 装置の最大給電値を超過時に Syslog が出力されない場合があります。

回避策 -

APLFM-10700-ER031

現象 コンボポート (copper) において、port state disable 状態にも関わらず、cable_diag を実行するとポートがリンクアップする問題があります。

回避策 ports state disable のとき cable_diag を実施しないで下さい。
リンクアップした場合には、当該ポートを一旦 ports state enable に設定し、再び ports state disable に設定して下さい。

APLFM-10700-ER032

現象 宛先 MAC アドレス : 0180c2:000011 ~ 0180c2:00002f の予約済マルチキャストフレームにおいて、VLAN の影響を受けずに中継する問題があります。

回避策 上記予約済みマルチキャストフレームを使わない場合は、アクセス制御リストによる受信破棄を行ってください。

APLFM-10700-ER033

現象 Telnet 接続された装置において、“show tech” など多くの情報を収集するコマンドを実行した場合、一部の情報が取得できない問題があります。

回避策 直接アクセス(Console)による情報取得、もしくは個別コマンドにより必要な情報を取得下さい。

APLFM-10500-ER001

現象 10M-half で設定されたポート間をループ接続した場合、フラッディングをしないことがあります。(その結果、ループ接続状態にありながら、ループが発生していないように見えます)

回避策 -

APLFM-10300-ER001

現象 本装置の起動途中に本装置と接続先装置のポートが一時的にリンクアップ・ダウン
します。ログにリンクアップ・ダウンの記録が残ります。

回避策 -

Apresia は、日立電線(株)の登録商標です。

バージョン	対象機器
1.00.00	ApresiaLightFM124GT-SS
1.01.01	ApresiaLightFM124GT-SS ApresiaLightFM108GT-SS ApresiaLightFM116GT-SS
1.03.00 1.04.00 1.05.00 1.06.00 1.07.00	ApresiaLightFM124GT-SS ApresiaLightFM108GT-SS ApresiaLightFM116GT-SS ApresiaLightFM108GT-PoE ApresiaLightFM116GT-PoE